



行く国マガのある店

町を愛し、町に愛される美容室

青葉台駅より徒歩3分にある美容室カッタクラブKOGA。幅広い客層に愛され、オープンから30周年を迎えました。その人気の秘訣は？

美容室に求めるのは、まず第一にカッコイイ、可愛い、お洒落な髪形にしてくれることです。そして、それを自分でセットできるかということ。こちらでは髪質や生活スタイルに合わせて、お客さんがお家でセットしやすい髪型を提案してくれます。

カラーやパーマの際は髪や肌へのダメージが気になる方もいるのではないのでしょうか。KOGAでは有害な成分がなく、生分解できるカラダにも自然にも優しいシャンプーを使っています。

その上、水も「高電解イオン水」を使用することでとん髪と肌への負担を少なくするというこだわりよう。

そして、「カットの最中の会話」。今回、カットを店長の上野真由美さんに担当していただきました。髪の相談から始まり、お店のこと、青葉台のオススメの飲み屋さん、ちよつとマニアックな漫画の話など楽しく話させてもらいました。スタッフの方たちも仲が良さそう、こういう明るい雰囲気がお客さんにとって居心地よく、通い続ける理由なのではないでしょうか。

カッタクラブ KOGA
受付 10:00~19:00
定休日 火曜日 第3水曜日
045-984-3913
横浜市青葉区青葉台2-10-15 2階



あたらしくなりました。

2016

5

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3 憲法記念日(祝)	4 みどりの日(祝)	5 こどもの日(祝) こどもの国 51周年	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22 こどもの国・紙飛行機を飛ばそう	23	24	25	26	27	28
29 こどもの国・牛乳まつり	30	31				

2016

6

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2 開港記念日	3	4 こどもの国・フラフープ教室
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19 こどもの国・紙飛行機を飛ばそう	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	7/1 次号国マガ配付日	

5月と6月の予定

さあ、出かけよう！

リニューアル号

予定は決まった？

お待たせしました、リニューアルした新しい国マガのお届けです！

新生国マガは、より皆さんの声を誌面に反映できるようにしていきます。

そして、大事な変更点は隔月刊化です。以前より配布店舗も増えて、読んでくれる方も多くなる中で、各々のコーナーのクオリティを上げ、国マガの活動をもっと拡げていくため隔月刊化の決断をしました。

もちろん、今まで以上に「もっと面白いものを作って楽しんでもらえるようにがんばりますよっ！！」

今号は真っ白なカレンダーですが、次号以降はそのこどもの国のイベントや、地域の催し、国マガ配布店の情報などを載せていこうと計画しています。地元を楽しむフリーペーパー「国マガ」でこの町を楽しもう！！

国民の悩み

相談員 サリー志村

悩 旅行会社勤務です。知人から「安くしてっ！！」とお願いされ、いろいろ熱心に紹介した結果、結局「他のところにする」と断られることがあり、悲しいです。
(よつち 27歳女性)

答 よつちさんはきっと育ちの良い方です。自分が熱心に尽したら、相手もそれに応えてくれると思ってしまう。しかし、私でもそう考えがちです。しかし、世の中、そんなに愛で溢れていません。だから、強くなければ生きていけませんね。「安くしてっ」という人はタフです。だから、あなたとは、野良猫と飼い猫ほど考えが違います。でも、ヒトは優しくなければ生きていく資格はないと思います。一緒に頑張らしましょう。

オオキが認定 今回の逸品

カットクラブKOGA
上野真由美さんの「カット&スタイリング」

わたくしオオキは面倒くさがりです。髪の毛のセットも適当になりがち。髪を切ってもらう時は手間のかからない髪型にしてもらいますが、クセっ毛もあり、変に跳ねたりして悩まされます。このKOGAでは上野さんの提案で髪の毛を抑えようとせず、活かす髪型にしてみました。おお、これならちよつとの手間でお洒落感も出ていいじゃないか。弱点も上手くやればアピールポイントになります。髪の毛を見抜いて、的確なカットとスタイリング。その巧みな技術を逸品に認定！





コラム 引き込み線育ち サリ志村

泡コーヒーがうまい

酔っ払って終電で帰ってきた夜。寝る前に一息つこうと、テレビをつけると、「ためしてガッテン」の再放送がやっていた。大幅にリニューアルするらしく、これまで反響が大きかった裏ワザを紹介していた。リニューアルつつも、ぜつたい、これ、山瀬まみを降ろさせるための方便だよなあ。アイツ、もう何年出てるんだよ。なんて観ていたら、司会の立川志の輔師匠が「泡コーヒー」なるものを作り始めた。

山瀬は、泡コーヒーを一飲みするなり、「んごっ、んごいねっ、これええ！」と叫んでいた。あ、山瀬の笑顔ってかわいいんだな、なんて思っていると、オレ、急激に飲みたくなって、マネして作ってみることにした。すると、これがマジうまいんす。まず、濃いコーヒーの味が泡に包まれて届けられる。苦いよー(泣)、なんて思っていると、つぎに、遅れて甘い冷たいミルクが到着。それらが口のなかで程よく溶け合っ、食道へと落ちていく。ゴキウキウ、この間0.5秒。感動である。この晩から、日中働いているときも、午前にも一回、午後にも一回と、「おれは、今晚も

飲むぞ」と考えている次第だ。

この泡コーヒーの衝撃は、オレに、21歳のとき、はじめてカルーアミルクを飲んだときの感覚を思い出させた。コーヒーテイストの甘味が似ているせいだと思うが、はじめて飲んだ場所は、たしか、関内のクラブで、ドンドコドンドコと音圧だけが取り柄の音楽だけがかかるチンケな店だった。カルーアミルクを口にした瞬間、オレ、「好きーっ」と叫んでいた。で、この夜、カルーアミルクを連続で4杯飲んだ。でも、意外に高いアルコール度数と胸やけで、そのうち1杯分ぐらいいは、ミニ・ゲロとして吐いちゃったね。店のトイレには、相田みつをの、「あたまじやわかってるんだが」との格言が書いてあるカレンダーが貼ってあったことを、うっすら覚えている。徹頭徹尾、趣味の悪い店だった。こうやって、カルーアミルクに出会ったのだが、あるとき、バイト先の先輩に「かわいいもん飲んでるなあ」と言われたので、なんだか恥ずかしくなり、それから飲むのをやめた。良いじゃんかなあ、カルーアミルク飲んだって。にんげん



小説
ハックマンの冒険
安原マヒロ

透過光(上)

先週の土曜日に何をしていたのかを考えて、そうそう花見をしていたんだ、などと思出し、ふと見あげた街路樹がいつものまにか、朝日を透過して軽やかな緑色に変わっていることに気がついた。

それと一緒に、大変なことに気がついてしまい、これに気がつくというときは、僕は多分確実に老いたのかも知れない。よく何かに気がついたときに、歩みを止める描写が映画とか漫画とかであるけれども、それはとても余裕があることで、僕は電車に乗って一刻を争いながら出社するために、生まれ育った新興住宅地を足早に通り返して駅に向かわなければならぬ。

一人暮らしとか、転職とか、本当にやろうと思っていたこととか。ああ、いや、本当にやろうと思っていたことってなんだよ、そういうの、もういい。

イラスト・ニット坊や

初夏を帯びた風も吹いている。新学期が始まって、新しいクラスにも慣れて、午前の授業を開放した窓に腕をかけたながら聞いていた、あの時の授業の風と同じで、あの時僕は何かをやれると思っていた気がしたのだが。

バンドを組んでみたり、女の子とデートしたり、ちよつと悪いこともしたり、そういうことを全くやってこなかったわけでもないの、個性としてセールスする卑屈さもなく、かといつて何かがとて肯定的な形で成就したとは思えず、あ、そううだ、これはやつぱり、昔を懐かしんでいるということなのか。これから、僕は死ぬまで、昔を懐かしみ続けることが続くのか。子どもとかができる生きがいになるのか？ あのスーパーのフードコートで過ごす日曜日が人生の幸せになるのか？

(続く)

国マガ配布店

【こどもの国地区】

- アンシャンテ(ドッグサロン) ●井組自動車工(板金/塗装) ●おぐに(喫茶) ●GRIVE(コーヒー) ●こどもの国歯科(歯科) ●スリーエフ・こどもの国駅前店(コンビニ) ●セントポーリア(喫茶) ●なごみ(そば) ●なつうめ(カレー) ●炭火焼肉はち(焼肉) ●Bacchus(イタリアン&バー) ●B-line!(エクササイズ) ●街の家族(コミュニティハウス) ●MONT(パン)

【奈良北地区】

- かつ元(とんかつ) ●川本鍼灸接骨院(接骨院) ●Coonie(パン) ●シュタットシンケンかくれが工房(ハム/ソーセージ) ●昭和書房(本/文具)

【青葉台地区】

- あつふる鍼灸接骨院(接骨院) ●KOGA(美容室) ●COPPET(パン) ●Soul Cocktail's AOBADAI(バー) ●246亭(ラーメン)

【田奈地区】

- 赤い家(アールスペース) ●太平プラン(不動産)

【町田市】

- ULTRABO(古着)

次号は7月1日配布予定!!

こどもの国系情報誌「国マガ」Vol.37
発行日 2016年5月31日
発行人 サリ志村
デザイン ヨシムキ
連絡先 kunimaga920@gmail.com
※Facebookでバックナンバー配信中→
<https://www.facebook.com/kunimaga>

国マガ STAFF

サリ志村 業界誌編集

リニューアルしました。少しの間、途切れてしまい、皆さんに忘れられてないか心配ですが、ここからまた定期的にお届けしますので宜しくお願い致します。

加藤シュンスケ イラストレーター

実はここ1年程こどもの国周辺には住んでいません。川崎市に住んでいました。しかも7月からアイルランドという国に住みます。でも、心はいつも国マガだよ。

オオキ 長男

最近スマホとグーグルカードボードでヴァーチャリアリティを楽しんでいます。手軽にこんな未来を感じる体験ができるなんてスゴイ時代だ。

安原マヒロ ファッション誌編集

最近、時代人も凄いスピードで変化していくように感じますが、この誌面がぼんやりとみなさまの帰れる場所であらんことを願って。

おぎぬまX ギャグマンガ家

もう夏ですね!僕の部屋には早くも蚊がやって来ましたので、刺されないように布団に潜って寝ます。それでもお尻を刺されるから不思議だね☆

イラスト・柏木翔子

国マガ 1

退職届

加藤シュンスケ アイルランド滞在記

イラスト・漫画を担当している加藤です。7月よりアイルランドのダブリンに行くことになりました。

このダブリンが現地の出来事をご報告できればと思っています。

こどもの国とダブリンの架け橋になればいいなと思ったりしなかつたりして。写真は、春まで勤めていた会社に出した退職届。